

活用現場 レポート

おうめい 嚙鳴ベーカリー(株)

広島県広島市 米飯・パン製造(学校給食)

広島市安佐南区にある嚙鳴ベーカリー様(1951年創業)では、学校給食用、近隣病院用、喫茶店用のパンや、学校給食用の米飯を製造しています。毎日、大量の製造を行う工場では衛生面でFFCウォーターが大活躍。学校給食や業務用に特化している嚙鳴ベーカリー様での取り組みについてご紹介いたします。



● 嚙鳴ベーカリーについて



月曜日～水曜日、金曜日の4日間は毎日約14,000食の米飯を炊飯。木曜日は約15,000食のパンの製造をし、広島市安佐南区の小中学校へ届けています。

また、上記以外に近隣病院や喫茶店様へお届けするためのパンも毎日製造しています。

・製造スケジュール ★土日はお休み

	月	火	水	木	金
●米飯	14,000 食	14,000 食	14,000 食	お休み	14,000 食
●パン	製造	製造	製造	15,000 食	製造

1,000kg/日の米を炊飯

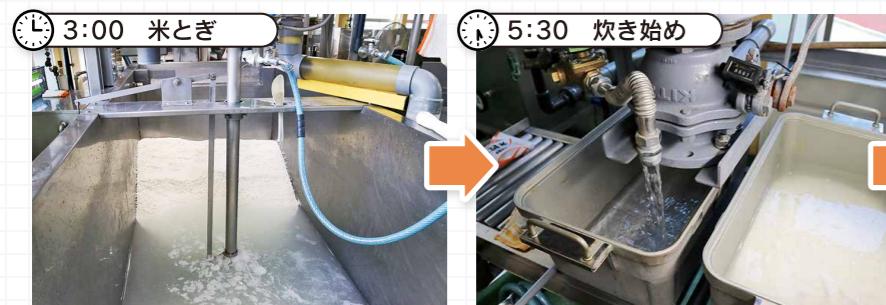


FFC活用歴
16年

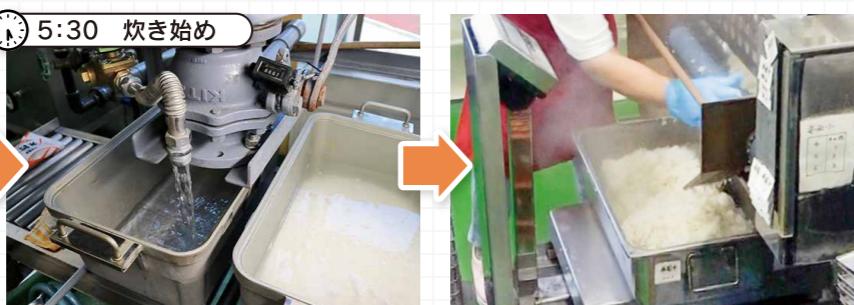
2台の業務用FFC元始活水器V40型を上水、井水の2系統で活用

● 米飯製造の流れ

学校給食用の米飯製造にFFCウォーターが大活躍!



洗米機に米を投入し、FFCウォーターを流しながら1日およそ1,000kgの米を研ぐ。その後、加水タンクに入れ、2時間加水する。



米釜にFFCウォーターと米を入れ炊飯(合計7kg)。麦ごはんの場合はここで米粒麦を投入。

50度の湯で15分炊飯し、飯缶(バッカン)に入れる。炊きあがりは1つ約15kgの重量となる。



炊きあがった米飯を入れた飯缶は400ケースに上る。仕分けされ、広島市安佐南区の小中学校へ配達される。



各学校から戻ってきた空の飯缶をFFCウォーターで予洗いし、大まかな汚れを落とす。



高压洗浄機で綺麗に洗った後、殺菌庫で静置。(100°C以上で40分)翌日また使用する。



代表取締役
西村 公作様

代表者のお話

FFC活用当初は「パンの生地が良くなかった」などの効果を感じておりましたが、3年ほど経った頃、工場内の汚れ落ちが各段に良くなり、劇的な変化を実感しました。

学校給食の製造においては、異物混入を防ぐため、日頃の清掃だけでなく、学期末毎の機械清掃など衛生面で非常に気を使います。FFCによって汚れが減少したため、清掃時間が短縮し、人件費の削減にも繋がっております。

これからもFFCを活用しながら、未来を担う子供たちのため、安全で安心できる美味しい米飯・パンを作り続けていきたいと思っております。

● FFC活用の効果

衛生面で大きな効果を実感!

機材などに汚れが付きにくくなった



・配管内やタンク内

加水タンクにつながる配管内によく付着していた「米ぬかによる腐敗物質」が、FFC活用後にはほとんど見られなくなった。以前は従業員が入って清掃していたタンク内も、上から少し擦るだけで汚れが綺麗に落ちるようになった。



・天井や換気扇

炊飯場では多くの蒸気が上がるため、一般的にはカビや汚れが発生しやすいが、天井や換気扇にはほとんど汚れが付いていない。

洗浄機の汚れが少なくなった



手入れがしづらく、黒くなりがちな飯缶洗浄用の高圧洗浄機のレーンもとても綺麗。オーバーフロー水を循環させるタンクの水の濁りもFFC活用後は改善され、透明になっている。

掃除が楽になり、排水の臭いも軽減



普段の清掃は、油汚れ以外では洗剤を使わず、水だけで十分汚れが落ちるようになった。

排水溝の臭いもなくなり、従業員にとっても働きやすい環境になった。

20年以上、機械の故障がない



20年以上使用している製造機械にはほとんどサビがない。故障も一度もなく、定期的にメンテナンスへ訪れる業者の方も驚かれている。

従業員の手荒れが軽減



米飯の製造や後片付けには水をたくさん使用するため、従業員の手荒れも悩みの一つだったが、FFC活用後は手荒れが少なくなった。

YouTube動画

嚙鳴
ベーカリー

マイケルトーク

マイケル・
J・ライス

工場でのFFC活用効果について西村社長の生の声をお届けします!



動画はこちら



2022年11月18日(金)まで

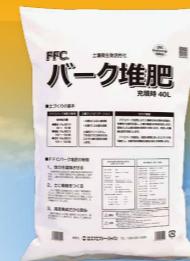
FFCパーク堆肥 秋の土づくりキャンペーン

キャンペーン
15袋セット

2袋プレゼント!
通常15袋 → 17袋

12%もお得!
1袋あたり2,530円→2,232円

37,950円
税込・送料込



秋作の土づくりから
FFCパーク堆肥を
使ってみたい方必見!

キャンペーン
50袋セット

10袋プレゼント!
通常50袋 → 60袋

17%もお得!
1袋あたり2,200円→1,833円

110,000円
税込・送料込

※送料別セット(①120袋購入で30袋プレゼント、②270袋で80袋プレゼント)の企画もご用意しております。

※商品に関するご質問やご不明な点は(株)エフエフシー・ジャパン(TEL 059-230-3595またはinfo@ffc-japan.co.jp)までお気軽にお問合せください。

なお、FFCパーク堆肥は、下記にてお引き取りいただくことで送料がお得になります。

お引渡し可能な場所は以下の3か所となります。ご注文は(株)エフエフシー・ジャパンまで。

宮城県 (株)ガーデン二賀地様

・宮城県仙台市青葉区上愛子遠野原34-1

福岡県 (株)ウッドサークル様

・福岡県大川市大字小保356-2

三重県 赤塚植物園グループ本社

・三重県津市高野尾町1868番地の3



FFC農法 応援 キャンペーン

2022年
秋

2022年 11月18日(金) 午後5時まで

最大
37% OFF!!

FFCエース農業用が
通常の会員価格より
まとめ買いでとってもオトクに!
詳しくはWEBでご案内しています。



FFCパーク堆肥と
組み合わせてご活用ください!

FFCエースを活用することで、より早い
土壤の改良が可能となります。FFCエー
スで活性化された土壤微生物がFFC
パーク堆肥を分解し、土がふかふかに!

FFCエースの使い方や効果など、
詳しくは(株)エフエフシー・ジャパン
(TEL 059-230-3595)まで。

FFC活用現場レポート マイケルトーク



マイケル・J・ライスさんが
全国のFFC活用事業者様
と対談するYouTube動画
です。動画を見て、FFCの
現場を体験しましょう!



こちらから
アクセス

FFC紹介広場

スマートフォンやPCなどインターネッ
トからFFC活用事業者様の情報を閲
覧することができるポータルサイト。
日本地図から事業者様をチェックで
きるなど、内容が充実
しております。ぜひご
覧ください!



こちらから
アクセス

FFCテクノロジー インスタグラム

水を改質し、水の機能を引き出す技
術FFCテクノロジーの情報を発信し
ています。様々な産業分野での活用
事例や、研究結果などをご紹介。



こちらから
アクセス

今号のお花プレゼント

テーブルシンビジュム 5号・陶器鉢

ひとつの花茎にたくさんの花を咲かせる豪華な洋
ランです。飾りやすいタイプで、玄関の棚など小さ
なスペースにぴったりです。

開花期間が約2ヵ月ありますので、年末年始にかけ
て美しい花姿をお楽しみいただけます。暖房が効
いていると乾燥し、蕾が咲かずに終わる原因とな
るため、涼しい場所に置いてください。



応募方法

同封の専用ハガキのアンケー
トにご記入後、ポストへご投函
ください。
抽選で3名様にプレゼントいた
します。

〆切

2022年11月30日(水)到着分まで
当選者の発表は商品の発送を
もって代えさせていただきます。

FFC・J TOPICS

2022年11月号

vol.120

株式会社 エフエフシー・ジャパン

〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3
TEL:059-230-3595 FAX:059-230-3380
ホームページ <https://www.ffc-japan.co.jp/>



日頃より弊社FFC製品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。
FFCジャパントピックスでは、FFC製品をご活用いただいている事業
者様の活用方法や活用後の変化、エフエフシー・ジャパン関係の最新
ニュースなどを紹介しています。ぜひ日頃の業務にお役立てください。

祝 受賞おめでとうございます!

高橋 清隆様(静岡県掛川市)



第70回静岡県温室メロン品評会
関東農政局長賞

FFCエースを使い、クラウンメロンを栽培されている高橋清隆様が静岡
県温室農業協同組合主催の第70回静岡県温室メロン品評会にて関東農
政局長賞を受賞されました。

この品評会には、静岡県内のメロン生産者が丹精込めた最高品質のメ
ロンが多数出品されます。今回は、生産者約360人の中からクラウン、磐
田、静南の3支所での予選を通過した53点が出品され、県内外の市場担
当者や県職員らがメロンの糖度、外観(見た目の美しさ)、内容(食味、香
りなど)を基準に200点満点で採点。

高橋様は全体の2位にあたる1等1席の関東農政局長賞を受賞されました
。おめでとうございます!



株式会社クイーンファーム様(広島県)



第17回広島県堆肥共励会 最優秀賞

広島県庄原市で酪農業を営むクイーンファーム様が手掛ける牛糞を主
成分とする堆肥が、堆肥の品質を競う広島県堆肥共励会で最優秀賞を受
賞されました。2015年以来2度目の受賞となります。こちらの堆肥は、
FFCを活用して育てた乳牛150頭から出る糞と樹皮のチップ、おがくずなど
を混ぜて約3ヵ月間発酵させて作られます。温度を80度以上に保ち大
腸菌を死滅させ、何度も堆肥をかき混ぜ、さらに乾燥させることで形が均
一になり、臭いがなくさらさらとした仕上がりで、「糞がしっかりと分解さ
れて臭いがなく、成分値や熟度の高い堆肥」との評価を受けました。

藤岡裕士社長は「飼料価格が上がるなどして畜産業界が苦しい中での
受賞は励みになる。品質の良い堆肥を出せるよう、これからも努力を続
けていきたい」とお話しされました。

